

平成 26 年（2014 年）12 月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書（１日目）

平成 26 年 12 月 9 日（火）

※ 1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	金 城 眞 徳 (新 風 会) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	教育行政について	(1) 本市における 2 学期制の現状について (2) 本市の小中一貫教育の進捗状況について (3) 平成 26 年度全国学力学習状況調査の結果について (4) 城東小学校校舎増築工事の件について
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 平成 26 年 12 月 9 日(火)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	奥 間 亮 (自 民 党) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	1 児童クラブ について 2 子ども医療 費について 3 国保財政に ついて 4 中核市につ いて	<p>本年 9 月議会において、私は「放課後児童クラブ開所時間延長支援事業」の実施を提言し、当局から「検討していく」旨の答弁があった。子育て世代のお父さんお母さん方を助けるためにも、児童クラブ（学童）に対する補助、支援を拡充するためにも、実施すべきである。新市長である城間市長は来年度から実施するのか、伺う</p> <p>本年 9 月議会において、私は、「中学校 3 年生までこども医療費（通院・入院）の無料化を実現すべきである。」と提言したが、城間市長は、中学校 3 年生までこども医療費（通院・入院）の無料化を、どのように実現していくのか、伺う</p> <p>(1) 国保の累積赤字について、政策的繰入れについては当然議論があるが、特別会計であるという原点から考えれば、特別会計独自の歳入でもって対応するためにはいかにすべきか考えるのは当然のことである 国保税率の内容のバランス等々の改定について、どのように考えているのか</p> <p>(2) 国保累積赤字は、どのように解消していくのか、伺う</p> <p>平成 25 年、前市長のもと、本市は中核市に移行した。中核市になったからには、那覇市民の皆様の生活向上にしっかりとつなげるべきである 中核市になったことで実際に生じたメリットとデメリットについて伺う</p>

一般質問（１日目） 平成 26 年 12 月 9 日(火)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		<p>5 市長の政治姿勢について</p> <p>6 南部振興会の負担金について</p>	<p>「那覇市」としてではなく「県都那覇市」として主張、表現するにあたっては、那覇市のことを第一に考えるのはもちろんのこと、県都は、他の市町村に対してもリーダーシップを持ち、互いに発展していくよう責任を持つべきであるし、県都としてそのように行動すべきである</p> <p>城間市長が考える「県都那覇市」の、県都としての、他の県内市町村に対する役割は何か、伺う</p> <p>(1) 本市は、南部振興会に対する負担金を削減してきているが、その理由を伺う</p> <p>(2) 本市が負担金を削減していることによって、他の市町村はどのような影響を受けているのか、伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

一般質問（１日目） 平成 26 年 12 月 9 日(火)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	<p>翁 長 大 輔 (日本共産党)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 環境行政について</p> <p>2 保安灯設置 拡充について</p> <p>3 スクールゾ ーン内の路面 表示等につい て</p>	<p>翁長雄志市政の後を継ぎ、環境政策を推進する 城間幹子那覇市長の公約に、緑のカーテン・屋 上・壁面緑化の推進事業に加えさらに、街路緑化 も盛り込まれている 環境面だけではなく観光資源としての活用も 視野に入れた事など、女性ならではの優しいまち づくりである その実績と課題について問う</p> <p>市民の安全・安心を守るための保安灯設置等補 助事業は、申込が多く、当初予算を上回っての申 請が寄せられている。当局の見解を問う</p> <p>数多くの議員が、児童生徒の交通安全のために 質問しており、大事故につながる小さな芽を摘む ため、地域も学校も積極的に交通安全に尽力して いる。事故防止に重要なものが、学校周辺の路面 表示等である しかし、市内のいたるところで、路面表示が消 えかかっている。路面表示補修に時間がかかるよ うだが、改善するための見解と対応を問う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

一般質問（１日目） 平成 26 年 12 月 9 日(火)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	上 原 快 佐 (社 大 党)	1 本市指定ごみ袋について	(1) 指定ごみ袋の形状について本市と他自治体との違いを伺う (2) 本市指定ごみ袋の形状変更の可能性について伺う
	<div>質問方式</div> <div>一問一答方式</div> <div>(演壇・質問席)</div>	2 公共施設の学習スペース(自習室)について	(1) 図書館及び公共施設の学習スペースの現状について伺う (2) 市民に対しての学習機会及び場所の確保についての見解を伺う
		3 イノベーション産業について	(1) 本市におけるイノベーション産業の雇用状況と賃金の推移について伺う (2) イノベーション産業に対する本市の今後の取り組みについて伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 平成 26 年 12 月 9 日(火)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	清 水 磨 男 (なは民主)	1 子育てについて	保・幼・小の連携を市長は掲げているが、長年の強い要望である幼稚園での給食提供にはどう取り組むのか
	質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	2 観光について	(1) W i - F i 事業は接続の認証を廃止し、フリーでの接続が利便性も高まると考えるが、見解を伺う (2) クルーズ船の第二バース是那覇市内に建設を求めるのか、見解を伺う
		3 市民生活について	(1) 「住民票、戸籍証明等のコンビニ交付」とは具体的にどのように実施するのか伺う (2) 「小学校区コミュニティモデル」の現状と今後のスケジュールを伺う (3) 保安灯が極めて不足する那覇市の現状に対し、企業広告による導入など様々な提案を行ってきたが、どのような対応を行っていくのか伺う (4) 名古屋市では公園の遊具を寄付で設置する取り組みが始まるが、那覇市でも導入できないのか伺う (5) 「犬猫殺処分ゼロ」には具体的にどのような取り組みを新たに行うのか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 平成26年12月9日(火)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	金城 敏雄 (自 民 党)	1 保育行政について	(1) 待機児童解消の取り組みについて 保育行政について伺う。待機児童解消の取り組みについて、希望しても認可保育所に入れない、待機児童の問題は本市にとっても深刻な問題になっていると思う。全国と比較すると、平成 24 年度の待機児童数は東京、沖縄、大阪の順で、沖縄県は大都市以外では待機児童問題が深刻である唯一の県となっている。県内の状況(平成 26 年 4 月 1 日現在)をみると、那覇市 439 人、浦添市 306 人、宜野湾市 211 人と順位が上位にある。原因は圧倒的に受入の保育施設が少なく、保育園の創設や認可化等などを進めていると思うが、従来の解決方法では時間がかかっているのではないかと。まず、市長が先頭になり、待機児童解消(ゼロ)に向けた新たな取り組みでの解消が急務であると考えている 本市の認可・認可外保育所施設の定員及び待機児童数の推移。また、待機児童の年齢別の状況を伺う
		2 自治会防犯灯の LED 電球への取り替え計画について	(2) 県が新に待機児童解消基金として 30 億円提案されているが、那覇市への影響について伺う(待機児童解消計画など)
			(1) 国の施策としても政府は 2012 年で白熱電球の製造を自粛するよう業界に要請し、LED 電球への転換を急ぐとある。これは地球温暖化対策や夏場の電力不足に備えるための要請でもあるようだが、あるメーカーはすでに製造を中止しているところもあり、今後自治会でも電球が切れた場合、既存の電球がなくなる可能性もあるので、早急に検討する必要があると考える。当局の見解を伺う

一般質問（１日目） 平成 26 年 12 月 9 日(火)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		<p>3 自治会活動の活性化(自治会の加入率減少問題)について</p>	<p>(2) 是非とも一括交付金等の補助メニューも含め行政と自治会との話し合いはもちろんのこと、早急に検討と実現に向けて努力してもらいたいと考える。市の取り組みについて伺う(防犯、管理費減に効果)</p> <p>地域住民がそれぞれの地域に愛着を感じる「安全・安心な住みよいまち」づくりを目指して、自治会活動の活性化を行っているが、加入率減少問題への当局の対策について伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

一般質問（１日目） 平成 26 年 12 月 9 日(火)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	平 良 識 子 (社 大 党)	1 妊婦の栄養指導について	沖縄県は全国一、低体重児の出生率が高い。このほど全国健康保険協会が東京大学とともに本市における妊婦の栄養調査を行ったところ、1日当たりの食塩摂取量で国基準の目標量を大幅に上回り、低体重児のリスク要因につながる恐れを指摘した中間報告が発表された。本市として、妊婦への栄養指導をどのようにしているのか伺う
		2 子どもの居場所づくり事業について	生活保護世帯で様々な理由で不登校となった中学生の支援をする本市の居場所づくり事業は、全国的にも識者から評価が高く、全県への広がりが期待されている。しかし、財源としている国の制度変更により補助率が引き下げられるため、来年度の事業継続の見通しが立たない状況となっている。生活困窮の負の連鎖を断ち切るためには、子どもたちへの支援が不可欠であり、事業の重要性を鑑み、継続すべきである。本市としてどのように検討しているのか伺う
		3 女性行政の推進について	<p>(1) 本市における管理職の女性登用の状況と今後の目標及び見通しについて伺う</p> <p>(2) 1985 年に始まった本市主催の「うないフェスティバル」が、今年 30 年を迎える。女性が仕事しやすい、子育てしやすい、生きやすい社会の実現は、男性にも暮らしやすい優しい社会へつながると考える。豊かさのある那覇市の実現に向けて、今後ますます活動の発展及び予算拡充支援をしていただきたい。予算の推移、現状、今後について伺う</p>
			<p>【答弁を求める者】</p> <p>市長、副市長、教育長、関係部長</p>